

わらび WARABI 市議会 だより

No. 187
2014・9

編集

蕨市議会議会だより編集委員会
TEL/048-433-7733
FAX/048-432-7991
Eメールアドレス
gikai@city.warabi.saitama.jp



目次

6月定例会において陳情を採択	P02
意見書を内閣総理大臣等に提出	P03
頼高市長のあったか市政を問う	P04
7月臨時会の報告・9月定例会の日程(予定)	P11
政務活動費執行状況・編集後記	P12

ご意見をお寄せください

今回の表紙写真は、昨年の9月14日に第一中学校で行われた体育祭でのワンカットです。一生懸命綱を引いている真剣な表情がとても力強かったですね。

ぜひ、今後の参考のために市議会だよりについての感想やご意見をお聞かせください。

6月定例会において、障がい者の入所施設についての陳情を採択

6月定例会は6月2日から20日までの19日の会期で開催されました。

今定例会では議長から全国・関東・埼玉県市議会議長会等の定期総会の報告と、市長から3月定例会以降の市政の取り組みや課題等についての報告がなされました。

また、3日間にわたった一般質問では、介護保険制度改定の影響、未婚のひとり親家庭への寡婦（夫）控除のみなし適用、来年行われる市長・市議選挙等、市政における重要課題を14人の議員がそれぞれ取り上げ、執行部の見解を問いました。

最終日には審議された請願・陳情3件のうち1件を採択、残り2件を不採択とした他、市長提出議案の条例・補正予算等と議員提出議案を原案どおり可決・承認して閉会しました。

障がい者の暮らしの場 特に入所施設についての陳情

本陳情を委員会での審査後、本会議で全会一致により採択し、市長に送付しました。

概要 現在、埼玉県では800名以上の知的障がいのある方が入所施設を待機、希望している。入所施設が足りないためショートステイをほとんど休

みなく続けるロングステイという正式の制度にない名称も生まれている。蕨でも既に市外で入所施設に入られている方、ロングステイの方やショートステイを定期的に利用されている方が出ている。

蕨市では平成27年4月にグループホームが開所される。入所施設の希望者はグループホーム対象の方より障がいの程度が重度な場合が多いのでグループホームでは対応できないこともある。毎日の健康

管理や、多動で家を飛び出したり、集団から離れる場所が必要な障がいのある方には、ある程度の広さのスペース、対応できる職員の数や経験がある入所施設が必要である。

また入所施設もグループホームと同様しっかりと理念を持つ事業者であれば、今までの人間関係や住み慣れた場所を利用して「地域での生活」も十分可能であると考える。

厚生労働省は埼玉県南部の状況を理解して設置を認めており、市町村の障害福祉計画に盛り込み、それに基づいての申請であれば認めている」としている。実際、平成26年4月に川口市で入所施設が設置されたが、定員60名のところ100名以上が県内から応募し、1年で埋まる予定である。

以上の点からグループホームが設置される来年4月以降、市内での入所施設設置について長期的な観点に立つて検討していただけるよう陳情する。



本年4月に川口市に開設された入所施設

蕨市の待機者も含め、たくさん入所施設待機者等が新たな設置を待ち望んでいる。

蕨市においても定員30〜40名なら用地を市内で探すことも可能と思われる。蕨市立でなくとも事業者を誘致することができる。

以上の点からグループホームが設置される来年4月以降、市内での入所施設設置について長期的な観点に立つて検討していただけるよう陳情する。

議員研修会報告

『地方公営企業会計制度の見直しについて』

去る6月27日、本市議会では市立病院及び水道部の職員を講師に招き、議員研修会を開催しました。この研修会は、今年度予算及び決算から適用となる地方公営企業会計制度の見直しについて、担当職員から詳細説明を受けることで、議会として理解を深めることを目的に開かれたものです。

制度見直しの背景や全体像についての説明の後、議員から「リース資産」や「キャッシュ・フロー計算書」等に関する質問がなされました。本市議会では研修会で得た知識を今後の企業会計予算・決算の審議に活かしていきます。



「子宮頸がんワクチン接種に関する意見書」を 内閣総理大臣等に提出しました!!

本意見書を全会一致で可決し、内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長に提出しました。

概要 子宮頸がん予防ワクチンとして、国は平成21年にサーバリックス、平成23年にガーダシルを承認し、昨年4月1日より定期接種とした。

しかしワクチン接種後、筋力低下やけいれんなど重篤な副作用が各地で報告されたことから、厚生労働省は昨年6月14日、接種の積極的勧奨の中止を各都道府県に勧告した。

同省によると、昨年9月までの医療機関等からの副反応報告2千320件のうち、538件が重篤とされており、重症者は脳機能障害による意識低下やSLE（全身性エリテマトーデス）を発症し、寝たきりになったこと等が報告されている。また、同省のリーフレットでは「子宮頸がん予防ワクチンは新しいワクチンのため子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていない」と明記されている。

ところが、臨床試験の終了を待たずに導入を決め、治験

が不十分であったことが指摘されているにもかかわらず、同省の審議会は去る1月に接種と副作用との因果関係が乏しいなどとする結論をまとめ、ワクチンの積極的な接種勧奨再開に向けた議論を進めようとしている。

これについて全国市議会議長会が、予防原則の立場から接種の一時中止を求めているほか、副作用に苦しむ当事者や保護者等もこれ以上事態を拡大させないため、積極的勧奨の再開に強く反対している。

同省において、平成26年度中に子宮頸がんワクチン接種者を対象とした、数千人規模の調査を実施するとの情報も聞けが、その内容・時期等は必ずしも明確ではない。

また、子宮頸がんワクチン接種に伴う副反応と思われる事例については、公的な支援は無く、診察・移動等に係る費用が当事者に重くのしかかっている現状も報告されているところである。

よって国会及び政府においては実態の調査・研究を徹底して行うことを強く要望する。

平成26年6月定例会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	新生会	共産党	公明党	民主党	無所属	結果
議請第4号	介護保険要支援者への保険給付を継続するよう国に意見書の提出を求める請願	×	○	×	○	○	不採択
陳情第4号	障がい者の暮らしの場 特に入所施設についての陳情	○	○	○	○	○	採択
陳情第5号	集団的自衛権の行使を容認する解釈改憲を行わないよう国に意見書の提出を求める陳情	×	○	×	○	○	不採択
議案第30号	蕨市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	原案可決
議案第31号	蕨市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	蕨市火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	蕨市奨学金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	蕨市の行政運営に係る長期計画審議会条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	平成26年度蕨市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	○	○	○	○	○	同意
議案第37号	固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	○	○	○	○	○	同意
議案第38号	固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	○	○	○	○	○	同意
議案第39号	固定資産評価員の選任の同意について	○	○	○	○	○	同意
議案第40号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	推薦
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	承認
議員提出議案第5号	子宮頸がんワクチン接種に関する意見書	○	○	○	○	○	原案可決

※議案第30・32・35号については質疑が、陳情第5号及び議案第30号については討論が行われました。
質疑・討論の詳細内容は蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。